



宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治)
宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治)
宇治市社会福祉協議会
(コラボネット宇治)

=支え合い、助け合い、励まし合って、つながる福祉=

社協だより

～コラボネット宇治～

2020
令和2年
9月15日

公式 twitter @uji_pyon



社会福祉法人 **宇治市社会福祉協議会**
(コラボネット宇治)

住所:〒611-0021
京都府宇治市宇治琵琶 45 総合福祉会館内

発行人:奥西隆三
TEL:0774-22-5650 FAX:0774-22-5654
URL:http://uji-shakyo.net Email:mail@uji-shakyo.net

“じぶんの町を良くするしくみ。”



赤い羽根共同募金運動が始まります

「共同募金」と言われて、イメージができないという人も、「赤い羽根」と聞くと、「見たことあるかも！」と思われるのではないのでしょうか。赤い羽根は、共同募金運動のシンボル。そんなシンボルを、小学生たちはランリック®のポケットに入れてくれています。

10月1日から12月31日までの3ヶ月間、全国協調の募金運動です。共同募金運動は、ただ、お金を集めるだけではなく、地域の福祉を支える活動を応援（助成）しています。宇治市共同募金委員会では、その事務局を宇治市社会福祉協議会（コラボネット宇治）が担い、次のような地域福祉活動を支えています。



要約筆記サークルエコーの
難聴者コミュニケーション訓練



サロンむらさき気楽会水曜日の取組み

募金方法を選べるインターネット
募金も受付しております!!
(社福)京都府共同募金会
[https://akaihane-kyoto.or.jp/
publics/index/121/](https://akaihane-kyoto.or.jp/publics/index/121/)



税制優遇の案内

共同募金会へのご寄付は税制優遇の対象となります。

- ・個人の寄付…所得控除または税額控除
- ・法人の寄付…株式会社などの法人の寄付は、法人税法により「全額損金」とすることができます。

**コロナ禍だからこそ、
いつもよりも人と人とのつながりづくりを大切に!**
～市内130以上の団体に配分されています～

共同募金は、宇治市内の社会福祉施設や地域福祉活動の取組みに役立てられています。そして、助成を受けている団体はコロナ禍でも、「孤立をしない地域」を目指して、工夫をしながら取組みをすすめています。

主な助成先（事業）

宇治難病患者連絡会(患者家族交流会・相談会)、精神保健サロン「元気です会」(精神障害者サロン運営)、宇治市介護者家族の会(介護体験発表とつどい)、宇治要約筆記サークルエコー(難聴者コミュニケーション訓練)、(特非)アウンジャ(DV/FV被害者の同行支援、生活・相談支援)、(公財)京都府原爆被災者の会宇治支部(被爆体験の語り部)、Hot!ふれあいサロン(地域でのつながりづくり)市内96か所など

詳細は…

はなっと

検索



#宇治市共同募金委員会
@ujiakaihane

普段からのつながりづくりで“今”を乗り越えよう! ～コロナ禍でも、人と人とができること～

人が安心して生活をしていくためには、誰かと、心のつながりを実感できることが大切です。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、今、ご近所同士のつながりづくりや支え合いの取り組みも大きな影響を受けています。日頃は、さほど意識をしなくても自然と傍にあった「人と人との心のつながり」が制限されることで、地域の中で孤立する人が増え、健康不安や精神不安、機能低下などにより、生活に困難を抱えるといったことも見受けられます。そのような中で、工夫をしながら「心のつながり」を実感したり、運営をしている取り組みを紹介します。

考えたんです!なんかできひんかな… ～「サロン車田」で、作業所のパンをきっかけに元気な顔～



パンをきっかけにサロン活動が再開



久しぶりの再会は、適度に距離を保ちながら

南部小学校区で活動されているサロンのひとつ、「サロン車田」。普段は毎月1回、集会所にみんなが集まり、お茶とお菓子でわいわいおしゃべりを楽しんでいます。

「サロン車田」にも、新型コロナウイルスの影響が押し寄せます。感染拡大防止の観点から、集会所の利用ができず、今年の2月以降、サロンの開催ができなくなりました。

緊急事態宣言が解除されてからも、どうしたらサロン活動が再開できるのか、サロンの代表者は思案の日々。そんな中、同じ地域で活動をする仲間から、障がいのある人たちの働く「作業所」のパンがコロナの影響で販売する機会が少なくなってしまうと聞きました。そこで、代表者はひらめきます。

サロンに集うみんなで作業所のパンを注文して集会所に配達してもらい、みんながパンを取りに来てくれたら、作業所の活動の応援にもなるし、サロン活動再開の道も開けるのではないかと…!

サロン活動と一緒に取り組むボランティアにも構想を伝え、早速サロンに集う利用者にも呼びかけました。

活動がストップしてから4か月が経った7月。香ばしいパンの香りが漂う集会所では、久しぶりにお互いの顔を合わせた皆さんの笑顔が!! サロンが始まる前から集会所に来て、再会に顔をほころばせる人、新型コロナの影響で体力が落ちたお話をされる人。マスク越しに、距離を保ってではありますが、それぞれにひと時を過ごされていました。これまでの形にとらわれずに、緩やかに顔を見せ合う活動から始めていったらいいかなと考えていますと、ボランティアの皆さんはお話をされていました。

アンケートの
まとめ

「人と人とのつながりを絶やさないように ～これからの学区福祉委員会活動について～」

コロナ禍で活動中止が余儀なくされた4月、活動者や当会の事業の利用者に向けてアンケートを行いました。

また、その結果を受けて、学区福祉委員会の委員の皆様に向けて「人と人とのつながりを絶やさないように～これからの学区福祉委員会活動について～」を提案しました。

当会は、感染症拡大防止に留意しながら二つの視点を提起しています。

1. 活動を「おこなうこと」ではなく、何のために「おこなうか」を大切に。
2. これから先を考えて、今だからできることをやってみよう。

これらのことを踏まえ、利用者や参加者の声を大事にして、活動をしている人への情報提供や、悩みに寄り添い、ともに考えていきます。



詳細はホームページに掲載しています。
QRコードからも入れます。

カラダもココロもリフレッシュ ～ラジオ体操でつながりづくり～

木幡地域では、地元医師のご厚意で、医院の駐車場を借りて、ラジオ体操をしているところがあります。皆さんの「おはようございます」という気持ちのいい挨拶がスタートの合図。ラジオ体操が始まります。ラジオ体操を通じて「顔なじみ」ができると、体調が悪くお休みをされる人には、声をかけるなど自然と交流が生まれます。このコロナ禍でも、活動は止めることなく行われていました。「体操は、外で密にならずにできるから。」とおっしゃっていました。参加者からは、「家をちょっとでていくことで、体操を一緒にやる仲間がいて、仲間との交流があって元気でいられる。交流できることで、つながりができ、お互いに気にかけてあげることができています。」という声が聞かれました。



赤塚地域でのラジオ体操



北島地域でのラジオ体操

木幡北島のラジオ体操の取組みが今年3月から始まっています。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一度お休みをされていましたが、6月から再スタートとなり、取材に伺いました。発起人は、石崎さん、東江さん、中村さん、宮本さんの4名。近くで、「ラジオ体操があれば良いのに」という声を聞いて、「参加者が1名でも良いしやってみよう」と始められました。いつも、ラジオ体操前に、石崎さんが2つの準備体操をしてから始まるのが日課です。この日は、「8回数えるよ。」と言って、10回数えたことで「2回多かった」と参加者からの鋭いツッコミで公園に笑い声が溢れました。東江さんは、「ラジオ体操に参加することで、今まではなんとなく顔は知っているなという関係から、笑顔で挨拶ができる関係になりました。こ

ういった関係が相互に広がるのが災害などの有事に生きるのだろうなと思います。」とのこと。東宇治北地域包括支援センターや当会の職員が伺うと、「こうやって顔を出してもらうことで、気軽に相談がしやすくなる。また、顔を出してね。」と声をかけて頂きました。また、8月頃からは、参加者の中から、公園の草木の手入れや趣味で撮影した写真を公園の倉庫の壁面に掲載して下さるようになりました。「ラジオ体操も楽しみですが、その掲載されている写真が替わるのが楽しみです。」との声も聞かれました。

ラジオ体操は、「健康づくり」の側面もありますが、多くの人と行うことで、継続性が生まれ、健康はもちろん、交流の場づくりにもつながっています。交流の場ができると、つながりが生まれ、ラジオ体操から派生して人と人とのつながりに発展していきます。

他にも、この地域では、木幡小学校前の大石さん宅でもラジオ体操が始まっています。

◆◆◆教えてください◆◆◆

- ①ご近所でされているラジオ体操の情報がありましたら、ぜひ教えてください。
- ②持ち運びがしやすい小型で、電池でも動くタイプのCDラジカセ（比較的新しい物）を、ご提供いただける方がありましたら、ぜひ当会までご連絡ください。これからご近所さんと一緒にラジオ体操を始めたいという方にお譲りできるよう調整します。

問い合わせ 宇治市社会福祉協議会 0774-22-5650

会議も「新しいスタイル」で ～オンライン会議も取り入れて～



災害ボランティアセンター運営委員会

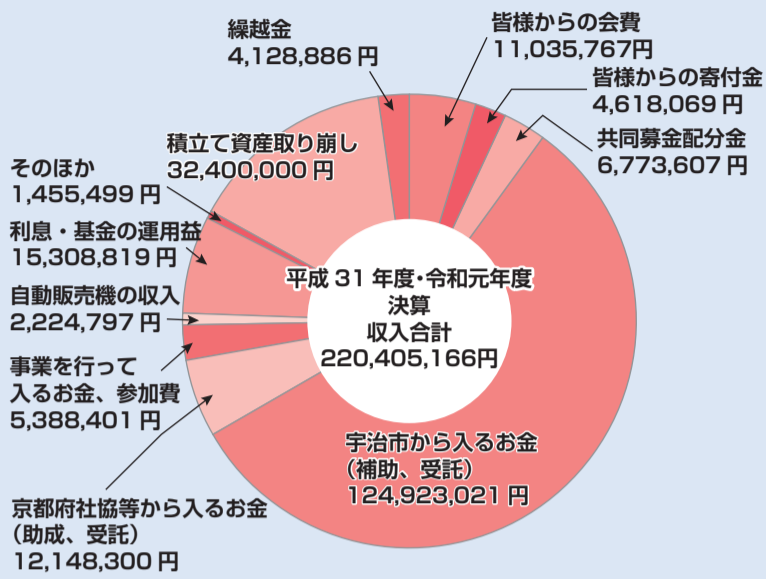
3月以降、大きな会合も中止や延期が相次ぎ、地域での会合も開催が難しい時期が続いていました。当会が事務局を担う宇治市災害ボランティアセンターも、総会が書面審議になるなど、影響を受けてきました。7月に入り、九州や東北で豪雨があるなど、災害も発生する中、このまま会合もできないままではいけない！と思い立ち、運営委員の初会合をすすめます。宇治市災害ボランティアセンターの運営委員は、民生児童委員協議会や学区福祉委員会など地域のボランティアや、宇治ボランティア活動センターの運営委員やNPOなどの人はもちろん、社会福祉施設や当事者団体などで構成されています。

それぞれの事情で、必ずしもコロナ禍で対面での会合参加ができるわけではないこともあり、「オンライン」での会合参加と対面の会合参加の「ハイブリッド型」での会議を持つことに。初めてオンライン会議を見る運営委員からは、「わかりにくいな」と戸惑う声もありましたが、会合の終わりには、「こういうツールを使って、発信できることもあるかも」などの声も上がりました。対面も大事だけれど、まずは顔の分かる関係を築くことができる「オンライン会議」も取り入れながら、災害時にも役立つ関係づくりに努めています。

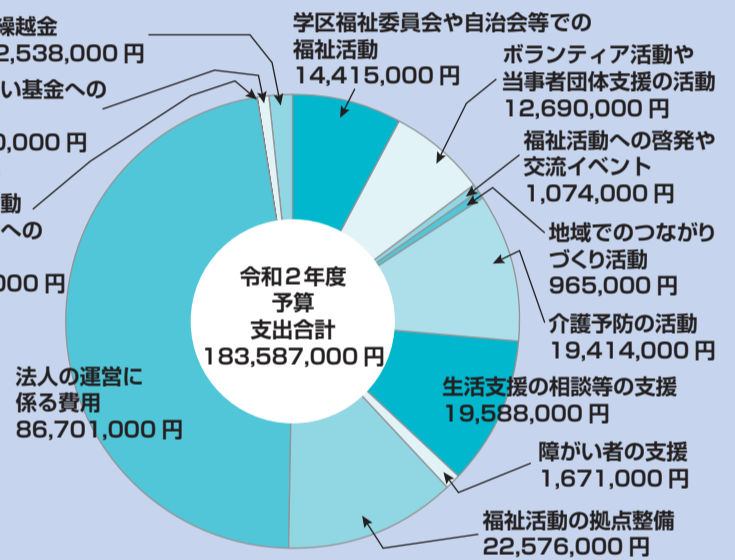
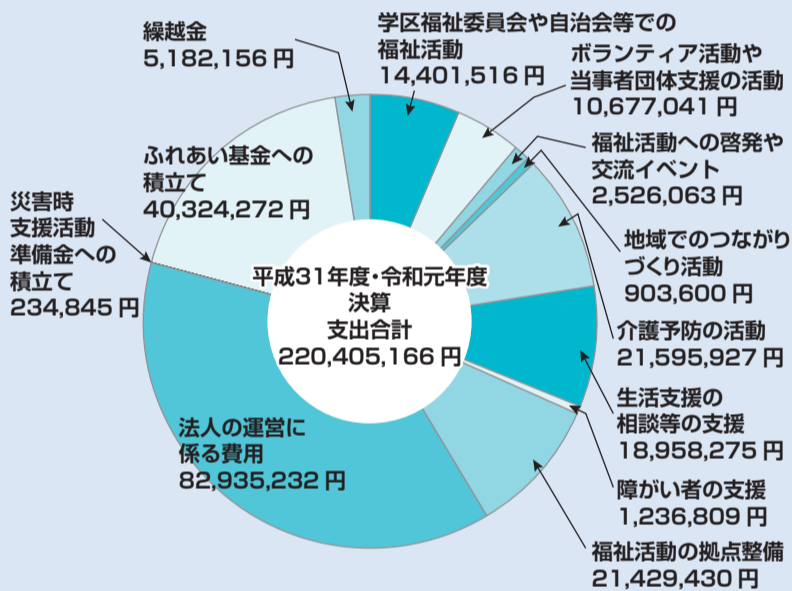
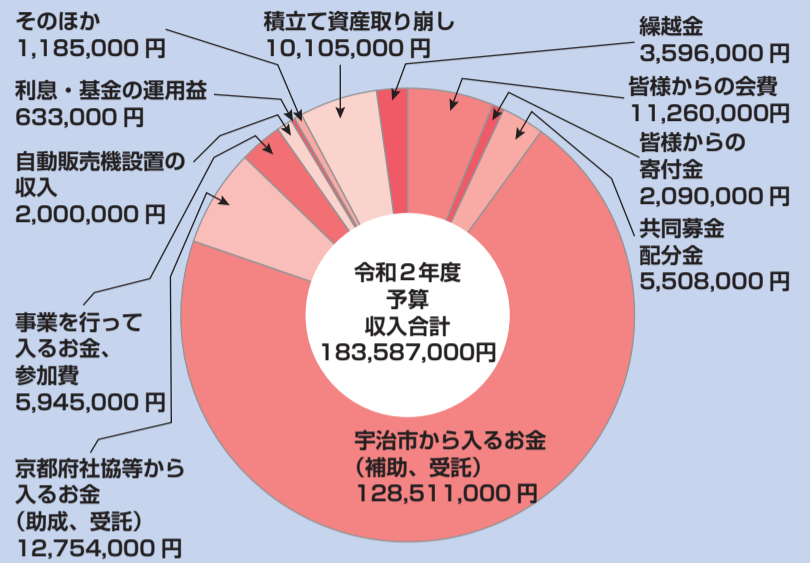
当会からのご報告

※市民のみなさまにご理解いただきやすくするために、どのような事業に支出をしたのかを表しています。法令による計算書類は、当会ホームページをご覧ください。
<http://uji-shakyo.net/> [コラボネット宇治](#) [検索](#)

平成31年度・令和元年度 決算



令和2年度 予算



1㎡からできる社会貢献

～自動販売機設置での地域福祉活動のサポートのお礼とお願い～

企業・商店・地域の皆様等が所有される建物や空き地等のスペースに飲料用自動販売機（以下、自販機）を設置させていただき、その収益の一部を地域福祉活動の財源として活用する仕組みです。
現在宇治市内では19台が稼働中。ぜひ探してみてください！
設置に必要な面積は約1㎡。社会貢献のひとつとして、設置スペースをご提供いただける方はぜひ当会までご連絡をお願いします。

訂正及び追加

2020年6月15日号の社協だよりに掲載した、平成31年・令和元年度の会員ご協力のお名前に一部誤りがございました。心よりお詫び申し上げます。

- 事業所会費
 - 誤 マイクロ福祉グループ
 - 正 マイクロ福祉グループ
- 施設会費
 - 追加 宇治福祉園
- 団体会費
 - 誤 岡屋地区民生児童員協議会
 - 正 岡屋地区民生児童委員協議会
 - 誤 善法和光会
 - 正 善法和広会